LPガス

人と地球にスマイルを

No.129

発行所/一般社団法人　**鹿児島県LPガス協会**
〒890-0064　鹿児島市鴨池新町5番6号
☎099-250-2535㈹　FAX 099-250-2534
E-mail:soum-kglpg@po.minc.ne.jp
URL:http://www.kglpg.or.jp
発行日/令和４年1月1日
印刷所/株式会社　鹿児島新生社印刷

CONTENTS

P2　…新年のご挨拶
P6　…令和３年度国家試験受験者率
P7　…令和３年度保安講習会の実施結果について
P8　…料金アンケート結果まとまる
P16 …福島県郡山市の爆発事故について

新年あいさつ

一般社団法人 鹿児島県LPガス協会
会長　秋元　耕一郎

新年明けましておめでとうございます。

会員事業所の皆様にはご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年も新型コロナ感染症の影響を強く受けた１年でした。その脅威は全世界に及び数多くの方々が生命を失うという残念な事態が発生、医療体制のひっ迫や経済の衰退を招き国民生活にとって多大の悪影響を与えました。

ただワクチンの供給量が増産体制になり２回接種終了者も日を追うごとに増加し、感染者が徐々に減少傾向に向かう中で規制づくめだった日常生活が徐々に活発化してきたことは何よりでした。

今後も決して安心することはできませんが、各人が感染対策をルール化することで再拡大を防止することが何より求められるところです。

LP ガス業界は、自粛生活による「巣ごもり需要」のため一般消費者宅のガス消費量は増加、苦境にあえいだ業務用需要は減少しましたが全体的には他業界より恵まれた業界であったと思われます。

一方産油国の事情により原油生産が縮小したことから価格が大きく上昇しつつあり、輸入価格への影響が大きくなっています。加えて国内における半導体生産工場の火災や海外の工場におけるコロナの影響による半導体生産が減少したことはガス機器類の生産に大きな影響を与え、発注しても納品の時期さえわからないといった事態も発生しています。この問題は改善の兆しが見えず深刻化する一方で営業活動の大きな足かせになっています。

また、小笠原諸島で発生した海底火山爆発が原因の軽石流失は沖縄県に大きな被害をもたらすと共に本県においては与論島へのタンカーの受入れが心配されるところでしたが何とか接岸することができ、島民の方々の生活に支障をきたさなかったことは幸いでした。

こうした中で協会事業は前年に比べると教育事務所講習も予定どおり実施することができましたし保安講習会も県下一円で実施できたことから少しずつ元通りになりつつあります。

とりわけ携帯電話が緊急時の連絡手段として認められたことや容器の流失防止対策等に係る法律の改正、施行について会員の皆様に情報提供をすることができたことは幸いであったと思います。容器の流失対策は近年の集中豪雨はいつどこで発生するか分からないことを考えれば早急に確実に対応するべきものです。

また令和４年度から段階的に資格取得講習や再講習等がオンライン化されることになり今までと大きく異なる事態になりました。他機関が実施する講習もその流れにあり感染症対策も考慮された結果です。講習会場まで時間と経費を伴う方にとっては朗報と思われますが、オンラインの環境が完全に整っているのかという問題や協会にとっては収入減少に繋がるため今後遺漏のない適切な対応が必要です。

取引適正化の面では経済産業省から賃貸集合住宅への事前料金情報の通知が要請され、一方不動産業界にも国土交通省から入居者への情報提示が求められることになりました。入居してから初めてガスの料金が分かるという不公平な事態を改善するための要請ですので、早急の対応は困難かもしれませんが時間をかけて常識化していくことも必要になってきました。

新たな令和４年はコロナの影響を最小限に食い止め、経済活動と半導体生産の回復により元通りの営業活動と日常生活が確立されることを祈念しまして新年のあいさつと致します。

令和4年 新年のご挨拶

一般社団法人 全国LPガス協会
会長 秋元 耕一郎

新年明けましておめでとうございます。

LP ガス事業者会員の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大も２年目になるという未曽有の世界的な危機により、１年延期された東京オリンピック・パラリンピックも緊急事態宣言発令下での開催という異例の状況となるなど、我が国の経済社会に対してもこれまでにない構造改革を迫るものとなりました。

新型コロナ感染症は新たな変異株の出現など完全に収束に至っていない現在、我々 LP ガス販売業においても、経済社会状況についての先行きの予測が難しい状況の中、今後はウィズコロナ、アフターコロナをも見据えた様々な対応が必要になっております。

他方、エネルギー業界に特に大きく関係する変化として、世界的に脱炭素社会への取り組みが加速しております。我が国においても「2050 年カーボンニュートラル宣言」が発表され、そうした動きが顕著となっています。

我が国の LP ガス産業は、既に 60 年を超える歴史があり、LP ガスの需要は一般家庭のみならず産業界でも広く使用され、我が国経済社会の発展と国民生活の向上に重要な役割を果たしております。カーボンニュートラルのトレンドの中にあっても、今後とも LP ガスが一定の存在感を保つことは確実であり、業界 60 年を顧みつつ、改めて保安を確保して安定した供給を行うことの重要性を再認識するとともに、業界が一致団結して創意工夫と努力を続けることを念願しております。特に昨年４月以降 LP ガス販売業界としてのカーボンニュートラルへの対応について当協会内で検討･議論を重ねてきた成果を年末に「中間とりまとめ」として明らかにしたところであり、本年からはそれを具体的な行動に移していく必要があり、業界関係者皆様のご理解・ご協力を改めてお願いする次第です。

また、近年頻発する自然災害を受けて、国の防災・減災等に資するために策定された「国土強靭化基本計画」における LP ガスの位置づけについて、引き続き、国会議員及び関係省庁等関係方面へのロビー活動、さらには、会員皆様のご尽力で数多くの自治体等における LP ガス GHP を採用する小中学校の増加等により、LP ガスは国民の生活を守る最後の砦であるとの地位を確立してきておりますが、さらに着実なものにしていかなければなりません。

本年も、以下の諸活動を推進するとともに、脱炭素社会の動きなど社会経済の変化に伴う LP ガス販売業への影響について、国内経済、国策やその動向等を注視し、国民の新しい生活様式や今後発生しうる災害への対応策等尽力してまいります。

保安については、お客様との信頼関係を築くための重要な礎であり、LP ガス業界において最優先の課題として取り組んでいるところでございます。経済産業省が昨年より、これまでの保安対策指針を新たに「液化石油ガス安全高度化計画 2030」と改め、国、LP ガス事業者、お客様等が主体者となって安全目標の達成を目指し取り組みを開始することになったことから、新たな自主保安運動として、国の高度化計画の目標、アクションプラン等と一体的に展開していきます。

需要拡大については、「需要開発推進運動」を業界一丸となり展開しているところです。カーボンニュートラルへの対応の一環として、エネファーム、GHP、エコジョーズ、ハイブリッド給湯器等、CO_2削減に資する LP ガス高効率機器の販売強化を更に進め、都道府県協会が実施する需要開発推進運動の支援等を推進してまいります。

また、全国の公立小中学校の特別教室及び避難所となる体育館等に LP ガスによる GHP 空調の普及、公的避難所・医療施設・福祉施設等の防災拠点等に対して、さらに LP ガスの常設・常用を推進してまいります。

「取引の適正化」については、クリーンで環境に優しく豊かなガスライフを実現するエネルギーとして、LP ガスが積極的にお客様に選んでいただけるよう、LP ガス販売指針による取引の適正化及び料金の透明化の一環であります料金の算定方法及び算定の基礎となる内容の説明等を行うよう LP ガス販売事業者に徹底してまいります。

LP ガス自動車については、燃料の多様化としてのオートガスの減少を防ぐため、また、国土強靭化基本計画に対応するために LP ガス自動車を我々業界内への普及はもとより、行政機関、輸送会社等に対して、エネルギーセキュリティー面からも保有車両の一定割合の導入促進、主要ユーザーである LP ガスタクシー車両の減少を防ぐため関係方面への働きかけなど、全国の LP ガススタンドのインフラ網を維持するための振興策及びネットワーク維持に必要な各種方策を引き続き実施してまいります。

最後に、当協会は、業界を取り巻く厳しい外部環境の下、将来の LP ガス販売業の発展に資する全国 LP ガス協会となるべく引き続き「構造改革」を進める所存です。

本年も会員の皆様のより一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

新年のご挨拶

鹿児島県危機管理防災局消防保安課
課長　村田　敏郎

令和４年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

一般社団法人鹿児島県 LP ガス協会の会員の皆様には、日頃から LP ガスに係る保安行政の推進に多大な御協力をいただいておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は、７月の豪雨で県北部を中心に住家や農地等に多大な被害が発生し、また、８月の豪雨でも１名の方が亡くなられるなど、本県におきましても多くの災害に見舞われました。

本県は、台風の常襲県であるとともに、多くの活火山を有しており、極めて厳しい自然条件のもと、いつ、どこで大規模災害が発生するか分からない状況にあります。

県民生活に大きな影響を及ぼす大規模災害発生時には、多くの機関との連携が不可欠ですが、貴協会と本県との間で締結された「災害時における LP ガス供給に関する協定」に基づき、今後、災害が発生した際は、この被災者の支援活動ができるように、貴協会との連携を一層深めていきたいと考えております。

昨年は、県内で８件の LP ガスの事故が発生しましたが、このような状況を踏まえ、県としましては、立入検査や保安講習会等により、法令遵守や組織内のリスク管理の徹底、事故防止対策について改めて注意喚起を行ったところです。

また、関係者のたゆまぬ努力の結果、死亡事故や人身事故のような重大な事故については着実に改善が見られ、低い水準まで低減が図られてきましたが、未だ重大な事故の撲滅には至っておらず、安全・安心に対する社会の要求はますます高まっています。これらを踏まえ、昨年４月に、これまで毎年国が定めてきた「保安対策指針」に代わり、今後 10 年間を見据えた総合的な保安対策として、「2030 年の死亡事故ゼロに向けた、国、都道府県、LP ガス事業者、消費者及び関係事業者等が各々の果たすべき役割を果たすとともに、環境変化を踏まえて対応することで、各々が共同して安全・安心な社会を実現する」ことを理念目標とする「液化石油ガス安全高度化計画 2030」が策定されました。

この計画では、2030 年時点で年間の死亡事故件数１件未満、人身事故 25 件未満の達成が高度化指標として位置付けられており、その目標達成に向けたアクションプランとして、「消費者起因事故対策」、「販売事業者起因事故対策」、「自然災害対策」、「保安基盤の整備」の４つを柱に、それぞれの分野で具体的な取組を実施し、更なる保安の向上を図ることとしています。

都市ガスの全面自由化が開始され、オール電化も含めたエネルギー間の垣根を越えた競争が激化する中、平成 30 年度には「液化石油ガスの小売営業における取引適正化指針」の見直しが行われ、新たに「戸建住宅と集合住宅それぞれの標準的な料金メニュー等の公表」、「苦情及び問合せの記録簿の保存期間」に関する項目が追加されました。

会員の皆様におかれましては、液化石油ガスが今後とも一般消費者から選択されるエネルギーとなるため、法律の遵守はもとより、今一度自らの保安活動について適宜見直すなど、今年も引き続き保安の確保に万全を期してくださるようお願いいたします。

また、引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じた上で、LP ガスの供給を継続していただくよう、併せてお願いいたします。

結びに、貴協会の今後ますますの御発展と会員の皆様の御繁栄、御健勝を心から祈念いたしまして新年の挨拶といたします。

新年のごあいさつ

鹿児島県消防長会
会長　中村　剛

令和４年の輝かしい新春を迎え、鹿児島県 LP ガス協会会員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から LP ガスの安定供給と保安の確保にご尽力されておりますことに深く敬意を表しますとともに、本県消防行政の推進に格別のご支援とご協力を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年７月に発生した静岡県熱海市での土石流災害をはじめ、記録的豪雨により全国各地で甚大な被害が発生し、改めて自然災害の脅威を思い知らされたところであります。計り知れないエネルギーを持つ、自然が相手ではありますが、県民の安心・安全の確保のため、常日頃からの心構えと、より一層の緊張感を持ちながら、有事に備えなければならないと痛感したところでございます。

このように、複雑多様化する大規模災害に対し、地域に最も密着した防災機関として住民の期待に応えることが消防の使命であることから、さらなる消防防災・危機管理体制の充実強化と官民一体となった地域防災力の向上のため、装備・資機材の整備はもとより、緊急消防援助隊の連携強化や消防団及び自主防災組織の充実強化を推進していく所存でございます。

一方、ここ数年における LP ガスに係る事故の全国の発生状況を見てみますと、年間 200 件前後で推移しており、この中には、死者が発生した爆発事故も含まれていることから、ひとたび事故が発生すると人命に多大な影響が及ぶことが見て取ることができます。このうちの約半数は、消費者側における取り扱い上の不注意やメンテナンスの不備、設置後の経年劣化による配管の腐食等によるものであり、普段の心構えひとつで防げるものであります。

鹿児島県消防長会といたしましても、貴協会をはじめ関係機関と緊密な連携を図り、各種広報活動や立入検査時の機器使用状況の確認などを行い、ガス事故の未然防止に努めてまいりたいと考えております。

貴協会におかれましては、これまで LP ガスの消費等に伴う事故撲滅のため、平素の業務を通じて、長年培った経験と実績、高度な知識と技術を十分に活かした保安対策活動や事故防止啓発の周知広報を実施するなど、なお一層地域住民の生活の安心安全の確保にご尽力賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、今年１年「LP ガスの事故ゼロ（０）！」を念願いたしますとともに、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

令和3年度国家試験受験者率

本年度の国家試験は、令和３年 11 月 14 日（日）に鹿児島国際大学及び大島支庁の２会場で実施され、受験者率の結果が以下の通りとなりました。

試験の種類	受験申込者数	受験者数	受験者内訳		最終受験率	欠席者数	全科目免除及び筆記免除
			鹿児島市	奄美市			
乙　種　化　学	15	14	14	0	93.3%	1	
丙種化学（液石）	143	120	109	11	83.9%	23	
丙種化学（特別）	26	25	24	1	96.2%	1	
乙　種　機　械	52	43	42	1	82.7%	9	
第二種冷凍機械	78	67	65	2	85.9%	11	
第三種冷凍機械	163	140	134	6	85.9%	23	
第 一 種 販 売	25	25	22	3	100.0%	0	
第 二 種 販 売	268	237	225	12	88.4%	31	2
設　　備　　士	23	18	18	0	78.3%	5	1
合　　計	793	689	653	36	86.9%	104	3

【参　考】

①液化石油ガス設備士筆記試験の合否は 11 月 26 日（金）に発表され、上記 18 人の受験者のうち、９人が合格。
　昨年の受験者１人を含む 10 人の技能試験は、12 月５日（日）に実施された。
　※合格発表日は筆記・技能試験とも令和４年１月５日（水）

②各会場の受験率は次のとおり。
　鹿児島会場……87.3%
　奄美会場……80.0%

③総申込者数……796 人
　全科目免除　２人（第二種販売）・設備士筆記免除　１人含む

令和3年度 保安講習会の実施結果について

県内 11 会場において、下記概要・日程で保安講習会を実施しました。
なお、下記日程で参加できなかった事業所を対象として年度内に追加講習を行う予定です。

＜概　要＞

1．対 象 者：販売事業者の代表者または業務主任者
2．受 講 料：1名@ 1,000 円 (資料代含む)
3．講習内容：(1) 行政上の留意事項について
(2) LP ガスの保安管理等について（最近の法令改正含む）
4．講　　師：鹿児島県消防保安課、鹿児島県大島支庁総務企画課
(一社) 鹿児島県 LP ガス協会　事務局

No.	期日	時　間	場所	対象支部
1	10 月 26 日 (火)	10：00 ～ 12：00	鹿児島県プロパンガス会館 鹿児島市鴨池新町 5-6 TEL　099-250-2535	鹿児島支部 (1 ～ 3 班)
2	10 月 26 日 (火)	13：30 ～ 15：30	鹿児島県プロパンガス会館 鹿児島市鴨池新町 5-6 TEL　099-250-2535	鹿児島支部 (4 ～ 7 班)
3	11 月 5 日 (金)	09：30 ～ 11：30	末吉総合センター 曽於市末吉町諏訪方 8127 TEL　0986-62-6200	曽於支部
4	11 月 5 日 (金)	15：00 ～ 17：00	姶良市文化会館「加音ホール」 姶良市加治木町木田 5348-185 TEL　0995-62-6200	姶良霧島 支部
5	11 月 9 日 (火)	13：30 ～ 15：30	ふれあいプラザなのはな館 指宿市東方 9300-1 TEL　0993-27-1221	指宿支部
6	11 月 15 日 (月)	1 部 /11：50 ～ 12：20 (昼　食) 2 部 /12：50 ～ 14：00	西之表市民会館 西之表市西之表 7612 TEL　0997-22-1116	熊毛支部
7	11 月 19 日 (金)	13：30 ～ 15：30	鹿屋市中央公民館 鹿屋市北田町 11103 TEL　0994-44-0321	大隅支部
8	11 月 22 日 (月)	9：00 ～ 11：00	ホテル ABC パレス 阿久根市赤瀬川 3122-1 TEL　0996-72-3731	北薩支部
9	11 月 22 日 (月)	13：30 ～ 15：30	SS プラザせんだい 薩摩川内市平佐 1-18 TEL　0996-27-8455	川薩支部
10	11 月 24 日 (水)	13：30 ～ 15：30	南さつま市民会館 南さつま市加世田川畑 2627-1 TEL　0993-53-2331	南薩支部
11	11 月 26 日 (金)	14：00 ～ 16：00	大島石油㈱ 奄美市名瀬矢之脇町 24-19 TEL　0997-52-2211	奄美支部

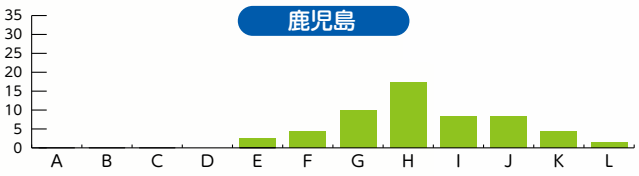
料金アンケート結果まとまる

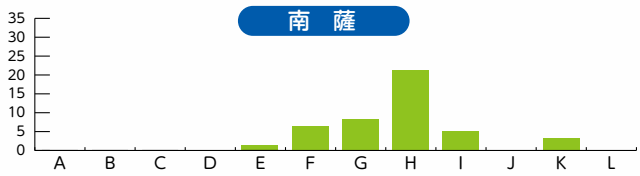
昨年９月時点を対象に実施している「令和３年度 LP ガス料金アンケート」の結果がまとまりました。一般住宅と集合住宅毎に、基本料金、5㎥、10㎥、15㎥の価格（いずれも税込）を掲載しています。

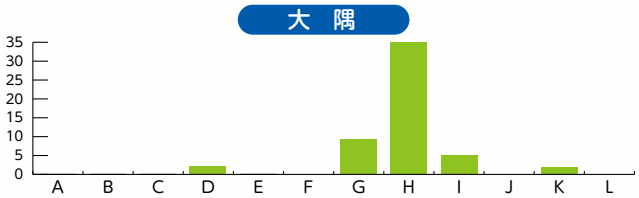
平成 29 年の法令改正や取引適正化ガイドラインを遵守し、今年も料金の透明化をより一層図ってくださるようお願いいたします。

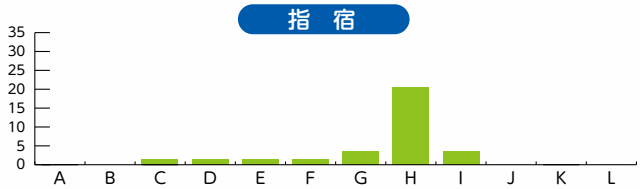
戸建住宅 2021年9月時点（基本料金 税込み価格）

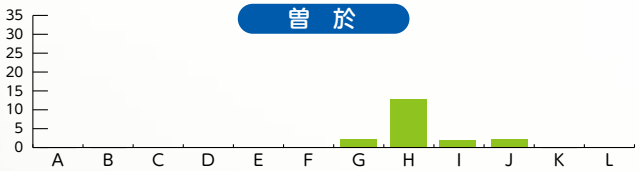
基本料金税込価格（円）		鹿児島	大隅	曽於	姶良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
1,000 未満	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,000 ～ 1,100	B	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
1,100 ～ 1,200	C	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
1,200 ～ 1,300	D	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	4
1,300 ～ 1,400	E	2	0	0	4	1	3	1	1	0	2	14
1,400 ～ 1,500	F	4	0	0	4	2	7	6	1	0	2	26
1,500 ～ 1,600	G	10	9	2	8	4	15	8	3	0	6	65
1,600 ～ 1,700	H	17	36	13	10	20	15	21	20	0	5	157
1,700 ～ 1,800	I	8	5	2	11	7	2	5	3	1	11	55
1,800 ～ 1,900	J	8	0	2	6	2	0	0	0	14	0	32
1,900 ～ 2,000	K	4	2	0	4	1	1	3	0	0	1	16
2,000 ～	L	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
計		54	54	19	49	37	43	44	30	15	29	374

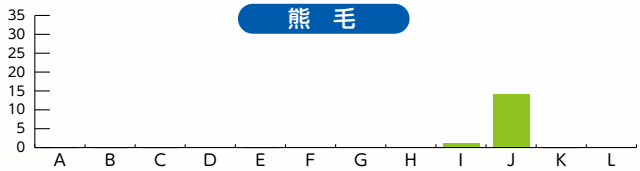


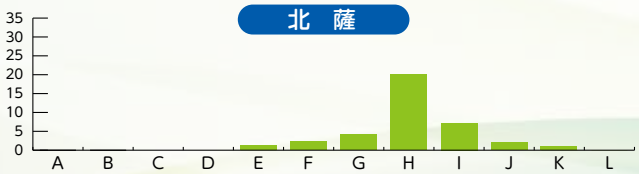


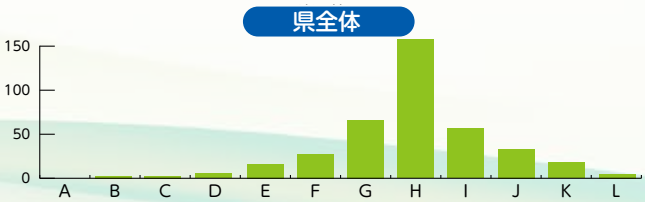








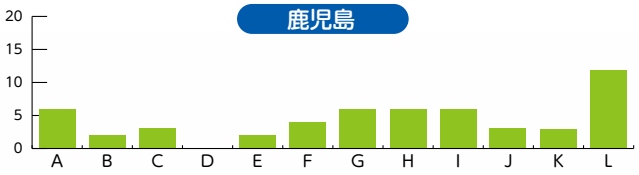


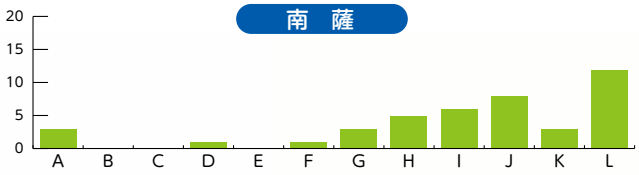


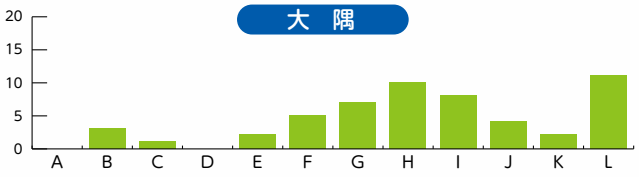
（表の見方）
上記表中の料金区分は、それぞれＡ～Ｌのアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

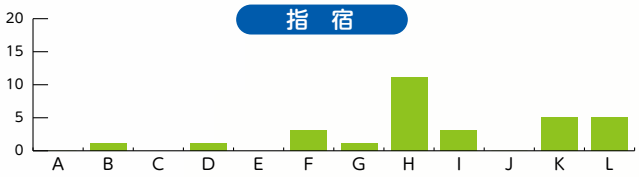
戸建住宅 2021年9月時点（5㎥ 税込み価格）

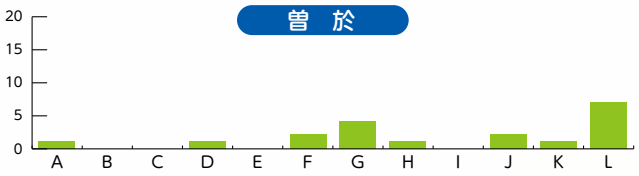
基本料金税込価格（円）		鹿児島	大隅	曽於	姶良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
4,200 未満	A	6	0	1	1	0	7	3	0	0	0	18
4,200 ～ 4,300	B	2	3	0	3	0	1	0	1	0	1	11
4,300 ～ 4,400	C	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	6
4,400 ～ 4,500	D	0	0	1	3	0	2	1	1	0	0	8
4,500 ～ 4,600	E	2	2	0	2	0	1	0	0	0	2	9
4,600 ～ 4,700	F	4	5	2	4	1	5	1	3	0	2	27
4,700 ～ 4,800	G	6	7	4	8	2	1	3	1	0	1	33
4,800 ～ 4,900	H	6	10	1	3	2	1	5	11	0	0	39
4,900 ～ 5,000	I	6	8	0	2	2	3	6	3	0	0	30
5,000 ～ 5,100	J	3	4	2	2	5	2	8	0	0	2	28
5,100 ～ 5,200	K	3	2	1	3	8	4	3	5	0	0	29
5,200 ～	L	12	11	7	16	15	14	12	5	14	21	127
計		53	53	19	47	35	43	42	30	14	29	365

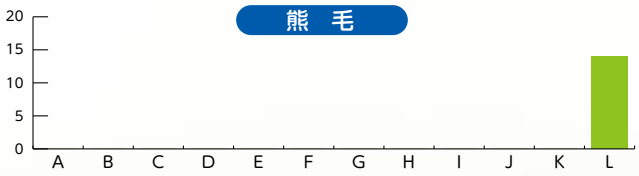


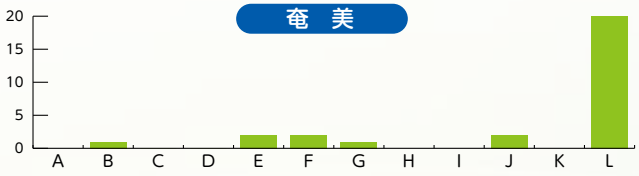


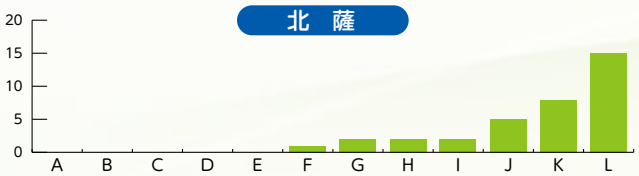








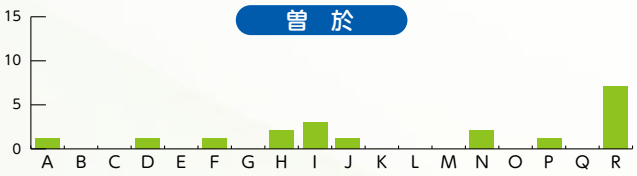


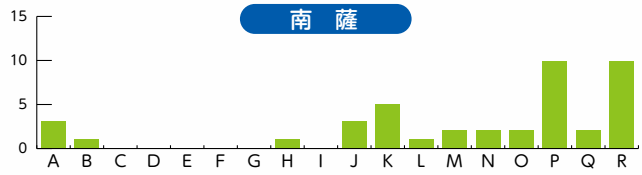


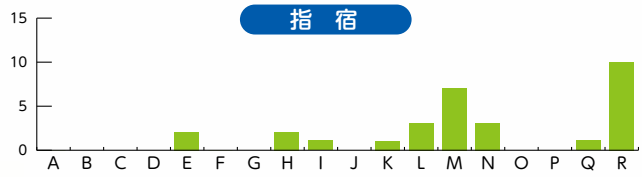
（表の見方）
上記表中の料金区分は、それぞれＡ～Ｌのアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

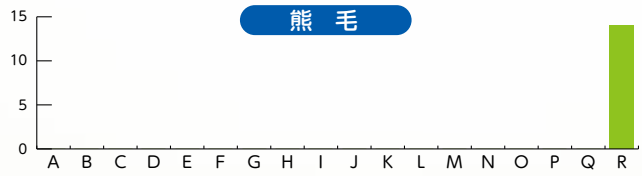
戸建住宅 2021年9月時点 (10㎥ 税込み価格)

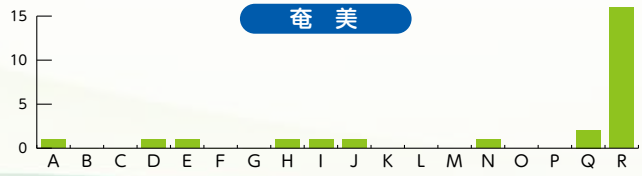
基本料金税込価格（円）		鹿児島	大隅	曽於	姶良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
6,800 未満	A	7	1	1	2	0	6	3	0	0	1	21
6,800 ～ 6,900	B	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	4
6,900 ～ 7,000	C	0	1	0	2	0	4	0	0	0	0	7
7,000 ～ 7,100	D	5	2	1	0	0	0	0	0	0	1	9
7,100 ～ 7,200	E	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3
7,200 ～ 7,300	F	0	5	1	0	1	3	0	0	0	0	10
7,300 ～ 7,400	G	3	2	0	3	0	1	0	0	0	0	9
7,400 ～ 7,500	H	1	5	2	2	0	1	1	2	0	1	15
7,500 ～ 7,600	I	2	2	3	2	1	2	0	1	0	1	14
7,600 ～ 7,700	J	6	7	1	6	0	0	3	0	0	1	24
7,700 ～ 7,800	K	4	2	0	3	5	3	5	1	0	0	23
7,800 ～ 7,900	L	2	4	0	2	2	1	1	3	0	0	15
7,900 ～ 8,000	M	2	4	0	0	3	1	2	7	0	0	19
8,000 ～ 8,100	N	5	1	2	3	2	2	2	3	0	1	21
8,100 ～ 8,200	O	1	4	0	0	3	0	2	0	0	0	10
8,200 ～ 8,300	P	1	1	1	0	4	0	10	0	0	0	17
8,300 ～ 8,400	Q	1	3	0	3	0	2	2	1	0	2	14
8,400 ～	R	14	7	7	18	14	17	10	10	14	20	131
計		54	53	19	47	35	43	42	30	14	29	366







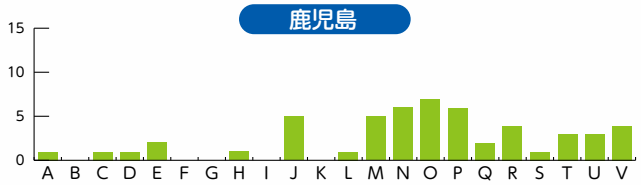


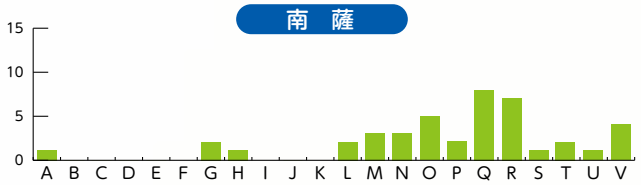


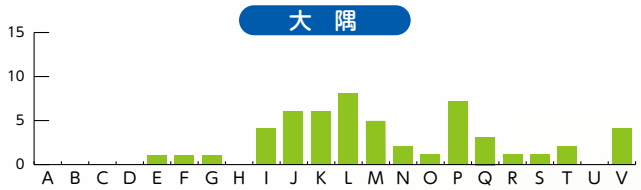
(表の見方)
上記表中の料金区分は、それぞれＡ～Ｒのアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

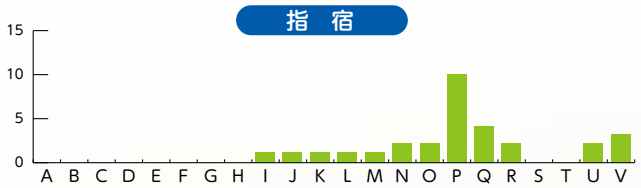
戸建住宅 2021年9月時点（15㎥ 税込み価格）

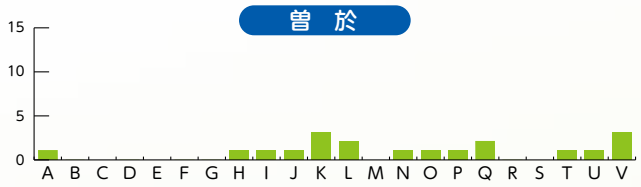
基本料金税込価格（円）		鹿児島	大隅	曽於	姶良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
8,000 未満	A	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	5
8,000 ～ 8,200	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8,200 ～ 8,400	C	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8,400 ～ 8,600	D	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
8,600 ～ 8,800	E	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	5
8,800 ～ 9,000	F	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3
9,000 ～ 9,200	G	0	1	0	0	0	2	2	0	0	2	7
9,200 ～ 9,400	H	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	5
9,400 ～ 9,600	I	0	4	1	1	1	2	0	1	0	0	10
9,600 ～ 9,800	J	5	6	1	3	0	3	0	1	0	1	20
9,800 ～ 10,000	K	0	6	3	3	0	1	0	1	0	0	14
10,000 ～ 10,200	L	1	8	2	3	3	3	2	1	0	1	24
10,200 ～ 10,400	M	5	5	0	6	5	2	3	1	0	1	28
10,400 ～ 10,600	N	6	2	1	4	2	1	3	2	0	0	21
10,600 ～ 10,800	O	7	1	1	2	7	3	5	2	0	1	29
10,800 ～ 11,000	P	6	7	1	0	2	1	2	10	0	0	29
11,000 ～ 11,200	Q	2	3	2	4	0	2	8	4	0	1	26
11,200 ～ 11,400	R	4	1	0	5	8	3	7	2	0	0	30
11,400 ～ 11,600	S	1	1	0	2	3	6	1	0	0	2	16
11,600 ～ 11,800	T	3	2	1	1	1	4	2	0	0	0	14
11,800 ～ 12,000	U	3	0	1	1	0	3	1	2	0	0	11
12,000 ～	V	4	4	3	10	3	1	4	3	14	19	65
計		53	53	19	47	35	43	42	30	14	29	365

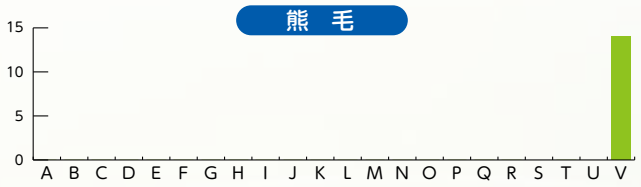


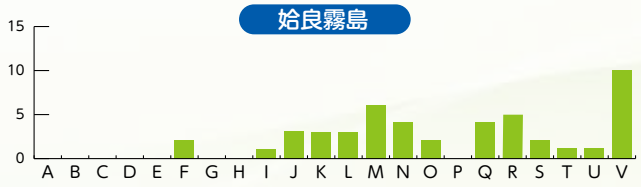


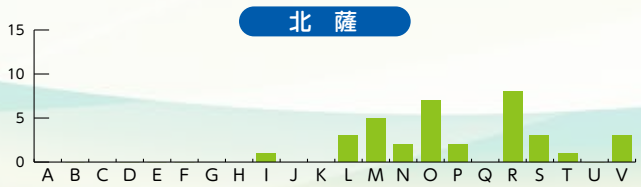








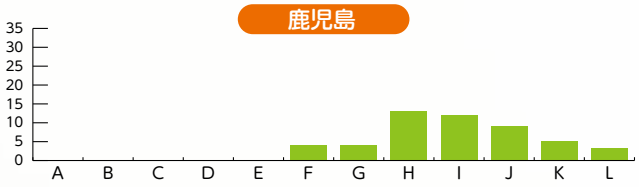


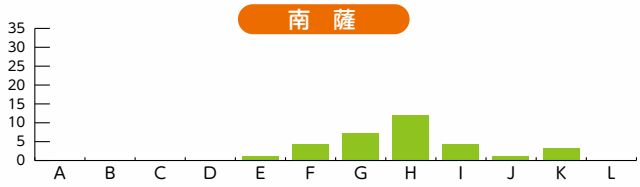


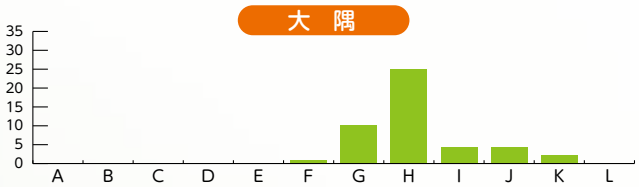
（表の見方）
上記表中の料金区分は、それぞれＡ～Ｖのアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

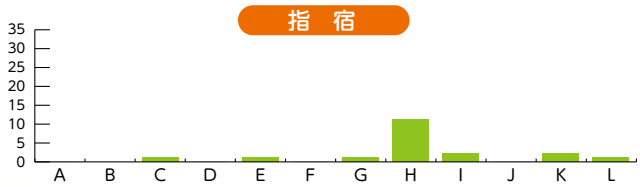
集合住宅 2021年9月時点（基本料金 税込み価格）

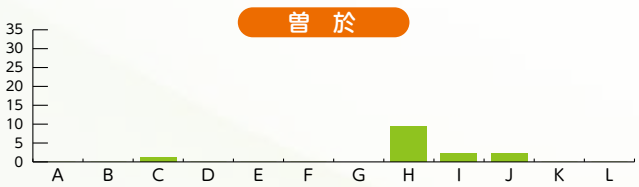
基本料金税込価格（円）		鹿児島	大隅	曽於	姶良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
1,000 未満	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,000 ～ 1,100	B	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
1,100 ～ 1,200	C	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
1,200 ～ 1,300	D	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
1,300 ～ 1,400	E	0	0	0	2	1	3	1	1	0	2	10
1,400 ～ 1,500	F	4	1	0	3	1	6	4	0	0	1	20
1,500 ～ 1,600	G	4	10	0	7	1	7	7	1	0	6	43
1,600 ～ 1,700	H	13	25	9	6	17	11	12	11	0	4	108
1,700 ～ 1,800	I	12	4	2	9	7	6	4	2	1	9	56
1,800 ～ 1,900	J	9	4	2	11	1	2	1	0	13	0	43
1,900 ～ 2,000	K	5	2	0	6	2	3	3	2	0	1	24
2,000 ～	L	3	0	0	0	0	0	0	1	0	2	6
計		50	46	14	46	30	38	32	19	14	25	314

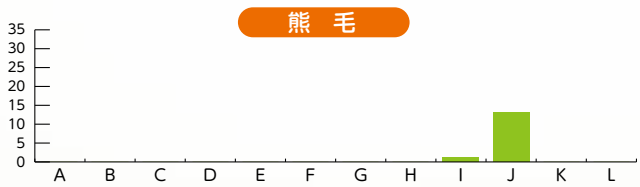


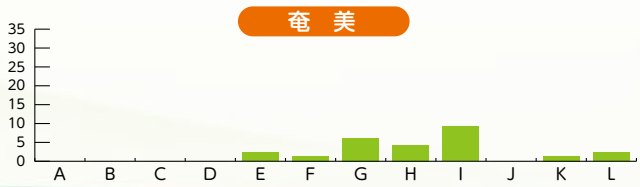








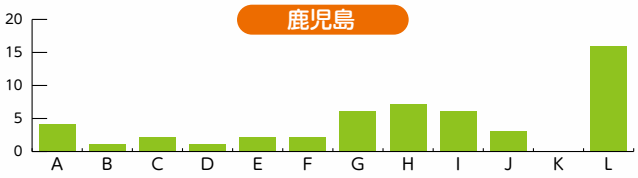


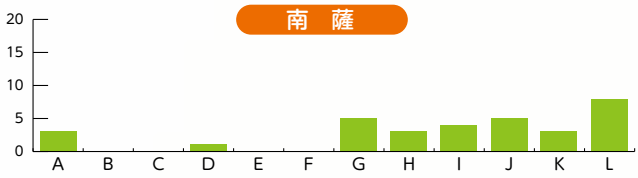


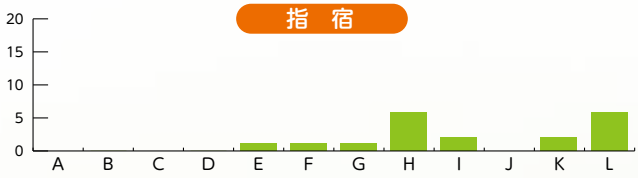
（表の見方）
上記表中の料金区分は、それぞれＡ～Ｌのアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

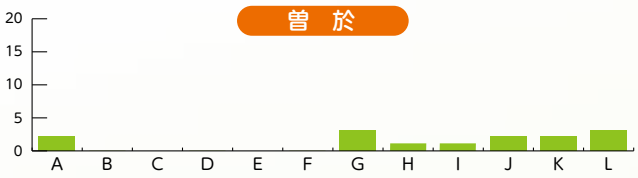
集合住宅 2021年9月時点（5㎥ 税込み価格）

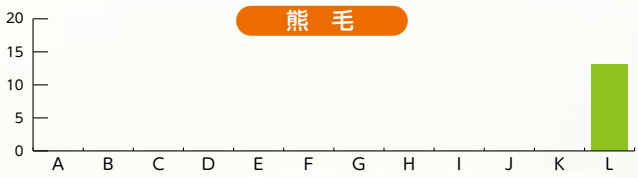
基本料金税込価格（円）		鹿児島	大隅	曽於	姶良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
4,200 未満	A	4	0	2	1	0	5	3	0	0	0	15
4,200 ～ 4,300	B	1	2	0	3	0	1	0	0	0	1	8
4,300 ～ 4,400	C	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
4,400 ～ 4,500	D	1	0	0	2	1	1	1	0	0	1	7
4,500 ～ 4,600	E	2	1	0	2	1	2	0	1	0	2	11
4,600 ～ 4,700	F	2	7	0	2	0	7	0	1	0	1	20
4,700 ～ 4,800	G	6	3	3	8	3	0	5	1	0	1	30
4,800 ～ 4,900	H	7	7	1	3	1	0	3	6	0	0	28
4,900 ～ 5,000	I	6	5	1	1	2	2	4	2	0	0	23
5,000 ～ 5,100	J	3	4	2	5	5	5	5	0	0	2	31
5,100 ～ 5,200	K	0	4	2	2	4	2	3	2	0	0	19
5,200 ～	L	16	11	3	15	11	13	8	6	13	17	113
計		50	45	14	44	28	38	32	19	13	25	308







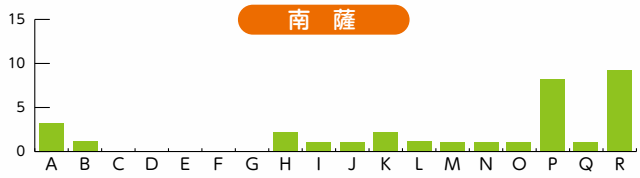


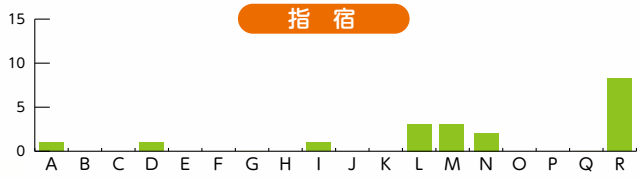


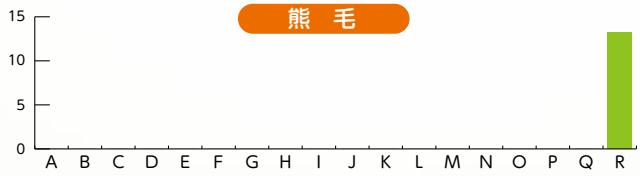
（表の見方）
上記表中の料金区分は、それぞれＡ～Ｌのアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

集合住宅 2021年9月時点（10㎥ 税込み価格）

基本料金税込価格（円）		鹿児島	大隅	曽於	姶良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
6,800 未満	A	3	2	2	2	0	5	3	1	0	1	19
6,800 ～ 6,900	B	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
6,900 ～ 7,000	C	2	0	0	2	1	2	0	0	0	0	7
7,000 ～ 7,100	D	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5
7,100 ～ 7,200	E	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
7,200 ～ 7,300	F	0	6	0	0	1	2	0	0	0	1	10
7,300 ～ 7,400	G	3	2	0	2	0	2	0	0	0	0	9
7,400 ～ 7,500	H	2	2	1	1	0	1	2	0	0	1	10
7,500 ～ 7,600	I	1	2	1	1	1	2	1	1	0	0	10
7,600 ～ 7,700	J	3	6	1	4	1	0	1	0	0	1	17
7,700 ～ 7,800	K	6	1	0	4	6	2	2	0	0	0	21
7,800 ～ 7,900	L	3	4	0	3	2	1	1	3	0	0	17
7,900 ～ 8,000	M	2	1	0	2	2	2	1	3	0	0	13
8,000 ～ 8,100	N	5	1	2	2	1	3	1	2	0	1	18
8,100 ～ 8,200	O	0	3	2	0	3	1	1	0	0	0	10
8,200 ～ 8,300	P	1	1	1	0	2	0	8	0	0	0	13
8,300 ～ 8,400	Q	1	6	0	3	1	2	1	0	0	2	16
8,400 ～	R	15	7	4	17	7	12	9	8	13	16	108
計		50	45	14	44	28	38	32	19	13	25	308



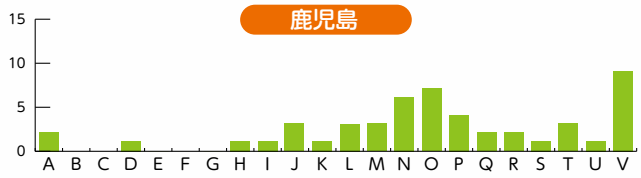


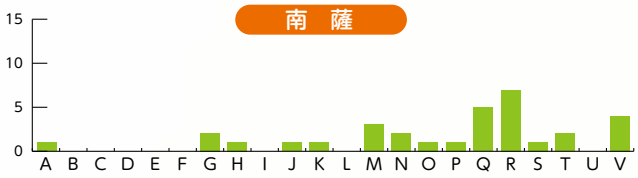


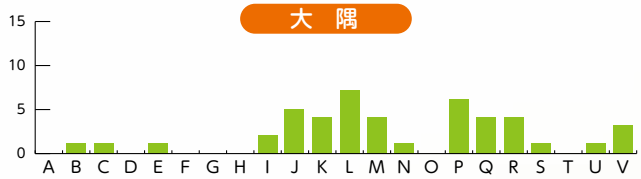
（表の見方）
上記表中の料金区分は、それぞれＡ～Ｒのアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

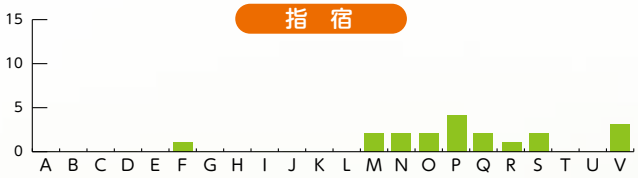
集合住宅 2021年9月時点（15㎥ 税込み価格）

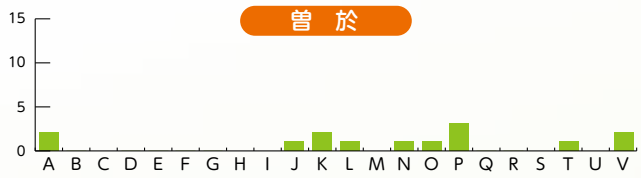
基本料金税込価格（円）		鹿児島	大隅	曽於	姶良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
8,000 未満	A	2	0	2	0	0	2	1	0	0	0	7
8,000 ～ 8,200	B	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
8,200 ～ 8,400	C	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8,400 ～ 8,600	D	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
8,600 ～ 8,800	E	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3
8,800 ～ 9,000	F	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
9,000 ～ 9,200	G	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	4
9,200 ～ 9,400	H	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4
9,400 ～ 9,600	I	1	2	0	1	1	2	0	0	0	0	7
9,600 ～ 9,800	J	3	5	1	3	0	3	1	0	0	2	18
9,800 ～ 10,000	K	1	4	2	2	0	1	1	0	0	0	11
10,000 ～ 10,200	L	3	7	1	0	3	2	0	0	0	1	17
10,200 ～ 10,400	M	3	4	0	7	4	4	3	2	0	0	27
10,400 ～ 10,600	N	6	1	1	3	3	1	2	2	0	0	19
10,600 ～ 10,800	O	7	0	1	2	6	2	1	2	0	1	22
10,800 ～ 11,000	P	4	6	3	2	2	2	1	4	0	0	24
11,000 ～ 11,200	Q	2	4	0	3	1	1	5	2	0	1	19
11,200 ～ 11,400	R	2	4	0	6	1	1	7	1	0	0	22
11,400 ～ 11,600	S	1	1	0	2	3	3	1	2	0	2	15
11,600 ～ 11,800	T	3	0	1	2	0	1	2	0	0	0	9
11,800 ～ 12,000	U	1	1	0	2	0	5	0	0	0	0	9
12,000 ～	V	9	3	2	7	3	4	4	3	13	16	64
計		50	45	14	44	28	38	32	19	13	25	308

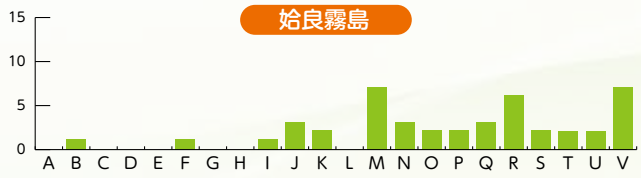












（表の見方）
上記表中の料金区分は、それぞれＡ～Ｖのアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

福島県郡山市の爆発事故について

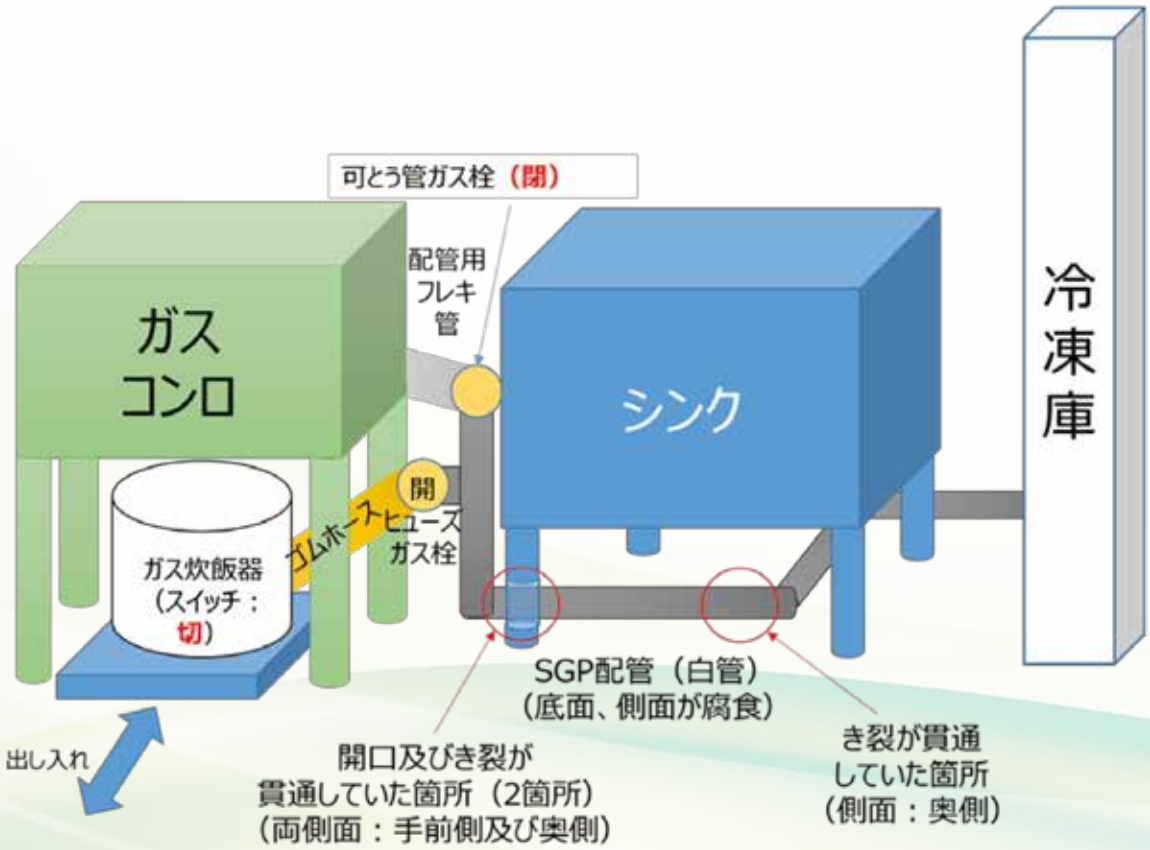
厨房シンク下の白管腐食に原因の疑い　保安機関担当者らが書類送検に

昨年７月 30 日に福島県郡山市で飲食店が爆発した事故から１年がたった。事故は 24 年ぶりのＡ級事故に認定されたが、死者１人、負傷者 19 人（重傷２人、軽傷 17 人）という規模は、Ａ級事故の「死者５人以上、死者および重軽傷者 10 人以上」の基準は満たしていない。ただＡ級事故には「甚大な物的被害（被害総額５億円以上)」という基準もあり、今回の被害見積もり額が約 12 億円だったことからＡ級事故となった。

９月２日には福島県警が保安機関の担当者らを業務上過失致死傷の容疑で書類送検したと地元メディアなどが一斉に報じた。捜査関係者の話として、ほかにも店舗運営会社社長、ガス管の工事業者など数人を書類送検したとしている。

経済産業省ガス安全室がまとめた報告書では、事故後に設備を確認した結果として、シンク下の白管について床面を中心に腐食している箇所が複数あったとしている。屋内の多湿部、水の影響を受けるおそれのある場所などでも白管が使用されており、コンクリート面などの導電性の支持面に直接触れない措置は講じられていなかった。いずれも液石法施行規則の例示基準に違反するものだ。

なぜあれほどの大爆発が起きたのか、何が発火原因なのかなど未解明の部分はあるが、ＬＰガス事業者として事故再発防止のポイントは明確になっていることから、継続して注意していくことが望まれる。



図：配管の設置状況（高圧ガス保安協会作成）

注）事故後に設備を確認したもの。

※月刊 LP ガス 10 月号掲載分より、一部転載